

# ボラ協 団体つなぎ40年

## 関係者ら集い 式典と祝賀会 「わたらせライフ」も20周年 市長も祝辞

桐生市ボランティア協議会(宮地由高会長)が40周年を迎えた。同協議会が母体となって設立したNPO法人わたらせライフサービスマも20周年を迎え、両団体の節目を祝い17日、桐生グランドホテルで記念式典を催した。関係者と来賓を合わせ、

約70人が出席した。宮地会長は桐生地域のボランティア団体同士のネットワーク構築を目的に、41年前に準備委員会発足をきっかけに会が設立されたことを説明。「福祉だけでなく、社会教育やまちづくりが入った団体は珍しい。特に印象に

残っているのが、阪神・淡路大震災の炊き出しで、協議会飛躍の契機になった」と回想した。県内初のNPO法人として認証され、有償

ボランティア事業を展開するわたらせライフサービスマは「無償ボランティアだけではなかなか思うような活動ができないと立ち上げた」と述べ、「これからの地域社会は助け合いがますます重要になってくる。2本の柱で桐生というまちを誰



もが住みやすい地域に変えていきたい」とさらなる意欲を語った。

亀山豊文桐生市長は「ボランティアという形で大きな安心を与えてくれ、活動は心強い。皆さんのお力があって市民の皆さんが安心して暮らせる」と感謝した。

式典では両団体と、桐生災害支援ボランティアセンターの活動を紹介。記念事業として、加盟団体を掲載したパンフレットを作成したことを報告した。